



企画展

# 宮野鉄之助 玉鋼を鍛えた鋸鍛冶

Tetsunosuke Miyano  
A Sawsmith Who Forged Tama-hagane Steel

ふいご  
1 | 鞴で火を熾す二代目宮野鉄之助

## 開催情報

名称	宮野鉄之助－玉鋼を鍛えた鋸鍛冶－
会期	2020年10月10日（土）～2020年12月13日（日）
会場	竹中大工道具館 1F ホール
開館時間	9：30～16：30（入館は16：00まで）
休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）
入館料	一般500円、大高生300円、中学生以下無料、 65歳以上の方200円 ※常設展観覧料を含む
主催	竹中大工道具館
公式サイト	<a href="https://www.dougukan.jp/special_exhibition/tetsunosuke">https://www.dougukan.jp/special_exhibition/tetsunosuke</a>

※新型コロナウイルス感染症対策のため、開館の状況を含め、会期やイベント等が変更または中止となる場合があります。最新の情報は企画展公式サイトにてご確認ください。

## お問い合わせ

「宮野鉄之助－玉鋼を鍛えた鋸鍛冶－」展広報事務局（竹中大工道具館内）  
〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1  
TEL：078-242-0216 FAX：078-241-4713  
E-mail：tetsunosuke@dougukan.jp

## 開催趣旨

兵庫県三木市の鋸鍛冶、二代目宮野鉄之助（1901～96）は玉鋼たまはがねを使って鋸のこぎりを作ることができた数少ない鋸鍛冶の一人でした。玉鋼とは、日本古来のたたら製鉄で精錬された鋼です。江戸時代の鋼は全て玉鋼でしたが、輸入鋼材の普及にともない、明治以降は次第に使われなくなっていきました。しかし刀鍛冶の家系に生まれた鉄之助は、戦後も玉鋼を使った鋸を作り続けます。そこには刀匠の技術に裏打ちされた、鋼を自在にあやつる匠の技がありました。本企画展ではその技術と作品の数々を紹介しします。

## プロフィール

## 二代目宮野鉄之助（1901～96）

本名遠藤政一郎えんどうまさいちろう。字は朝也ともや。四方齋しほうさいと号した。兵庫県三木市に生まれ、13歳で家業の鋸鍛冶の道に入り、初代宮野鉄之助に師事。昭和13年（1938）に二代目を襲名し、鋸製作の第一人者となる。書画にも秀で、日本刀の刀匠としても活躍した。



2 | 鋸の腰を見る宮野鉄之助

## 展示のみどころ

## 鋸の製造工程について

二代目宮野鉄之助の使った鍛冶道具、および二代目宮野鉄之助の作った鋸製造サンプルを使って、鋸の製造工程を紹介しします。

## 作品展示

二代目宮野鉄之助を中心に、その本家にあたる宮野平次郎家の作品、二代目鉄之助の息子にあたる宮野裕光、遠藤雄吉、遠藤智也、交流のあった鋸鍛冶 広田菊次郎などの作品を展示しします。



3 | 鋸の焼き入れをする宮野鉄之助



4 | フイゴ：宮野鉄之助使用品



6 | 千代鶴は秀作鮑刃「嵯峨の秋」と宮野鉄之助作押え刃「玉ゆら」



5 | ゼチメン（裁断器）：宮野鉄之助使用品

## 主な展示品

## 展示品総数は 150 点

- 7 | 胴付鋸「東離の秋」  
 8 | 両刃鋸「十六夜の月」  
 9 | ガガリ  
 10 | 挽切  
 11 | 畔挽鋸「ひきよせて くめば」  
 「のだての ゆるりかな」  
 12 | 日本刀：1970年に三木市大宮  
 八幡宮に奉納した品



12

## 関連イベント

## 「技と心」セミナー [99]

セミナー

## 三木の鋸鍛冶が語る 鋸の歴史から使い方まで

日時	2020年11月22日(日) 13:30～15:00 (13:00開場)
場所	神戸芸術センター会議室 (神戸市中央区熊内橋通7-1-13)
講師	光川大造(鋸鍛冶・カネジュン)
定員	50名 (事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
参加費	無料(竹中大工道具館入館の場合、別途入館料が必要)
申込締切	10月31日(土) 必着

※イベントの日時・内容は変更になることがあります。  
 最新の情報は、「宮野鉄之助—玉鋼を鍛えた鋸鍛冶—」展公式ウェブサイトにてご確認ください。

## 関連イベント申し込み方法

ウェブサイトまたは往復はがきに下記事項をご記入の上お申し込みください。

ウェブサイト

公式サイト ([https://www.dougukan.jp/special\\_exhibition/tetsunosuke](https://www.dougukan.jp/special_exhibition/tetsunosuke)) 内よりお申し込みください。

はがき

往信用裏面 ①イベント名(ご希望日時も) ②参加者氏名(フリガナ)  
 ③郵便番号・住所 ④電話番号 ⑤年齢

返信用表面 宛先に申込者の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。  
 裏面は未記入のこと。

[申込み先] 〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1 竹中大工道具館イベント係

※ハガキ1通につき1名様までお申し込みいただけます。

※参加可否の詳細は締切日以降10日程度でご連絡いたします。

※ご記入いただいた情報は厳重に管理し、イベント以外の目的には使用いたしません。

## 当館のご案内



日本で唯一の大工道具の博物館「竹中大工道具館」は、大工道具を収集・保存し、研究や展示を通じて後世に伝えていくことを目的に設立されました。

常設展は7つのコーナーに分かれており、唐招提寺金堂組物の実物大模型、五感に響くハンズオン展示などを通して大工道具の魅力をお伝えします。

また博物館そのものが「匠の技の数々を肌で感じてもらえる場」となっており、建物の各所には大工や左官、瓦師などによる伝統の職人技をちりばめました。

シンボリックで自己主張の強い建築ではなく、人と自然をやわらかくつなぐ存在としての「和」の建築を楽しんでいただければ幸いです。

## アクセス



山陽新幹線「新神戸駅」中央改札口より徒歩約3分  
 市営地下鉄「新神戸駅」北出口2より徒歩約3分  
 シティ・ループ「12 新神戸駅前(2F)」下車徒歩約3分  
 神戸市バス2系統・18系統「熊内6丁目」下車徒歩約2分

## 広報用画像

- ・画像データ1～12 (JPEG) をご提供いたします。メールにてお申し込みください。画像データをメールにて送信いたします。
- ・画像をご使用の際は必ずご案内のクレジットをご表記いただき、申請の目的以外にご使用なさないでください。
- ・掲載記事・番組内容について情報確認のためにゲラ刷り、原稿の段階で下記事務局までFAX送信ください。
- ・お手数ですが、掲載紙・誌、または録画媒体等を下記広報事務局あてに1部ご寄贈願います。

## お問い合わせ

「宮野鉄之助ー玉鋼を鍛えた鋸鍛冶ー」展広報事務局 (竹中大工道具館内)

〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1

TEL：078-242-0216 FAX：078-241-4713

E-mail：tetsunosuke@dougukan.jp

- ・読者プレゼントとして本展図録5部または当館招待券ペア (2枚) 5組を提供することができます。
- ・その他、撮影などの取材をご希望される場合は別途事務局までご連絡ください。